

八王子市議会レポート

No.57 2012年11月20日



# つくる、つくろう通信

陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属市民派 北野台在住

編集/発行：市民自治の会（陣内やすこ）

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 042-636-8158 FAX 042-636-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL http://jinnai.ne.jp/

## 第3回定例議会報告

(2012年9月10日～10月18日)

## 決算審査もありました

中核市移行問題を取り上げました。

八王子市は1998年に中核市移行を目指しましたが、黒須市政になった2000年、40億円あまりの財政負担が生じるとの事で、都との協議が整わず、断念した経緯があります。石森新市長の公約で、再び登場。最短で2014年4月からの移行というスケジュールを示して、都との協議に入っているのですが、多くの市民は蚊帳の外です。何が変わる、どう変わる。財政的負担はどれくらい持ち出しになるのか、市の独自の政策提案ならびに実施の可能性は？などなど、具体的に市民に提示し、議論をしていかなければなりません。そのようになっていません。特に、東京都という裕福な自治体の一部であるという恩恵をどっぷりと受けていることを考えると、都単独事業の交付金・補助金の行方が気になるところです。早く、具体的提案が示され、議会ならびに市民の間での討議が出来るよう、求めていきます。

ひとり言・・・権限があっても、それを執行する職員体制が整っていなければ、絵に描いたもちになりません。職員削減し、非正規をふやして、指定管理を増やしてきた最近の市政運営の負の蓄積が不安材料です。

放射能対策はどうなっている？

学校や保育園、公園などの放射能空間線量調査が昨年度行われたのですが、十分に市民意見を反映したものではなく、一施設1,2ヶ所程度の測定で良しとしています。学校給食の検査に関しても、市民要望が高い素材測定ではなくて、ミックス測定で始まってしまいました。放射能に関しては、市民と共に市民の不安をなくす、という視点に立って行われた事業とはいえないものとなっています。

道路わきの堆積汚染物質（路傍の土）から、高い放射能値がでていることに対して、測定や除染をおこなった時には、速やかにデータの公表と今後の対策を、と訴えているのですが、声が届いていない現状です。通学路などのチェックが必要です。

市の食育フェスタに、市民放射能測定室のハカルワカル広場が測定デモンストレーションをやりたい、と申請したところ、ダメとの回答。なぜ？市民の側に立った施策展開になっていません。

\*\*\*\*\*

3・11以降の食を考えた場合、放射能問題をぬきには語れません。みんなではかって、安心を。

ハカルワカル広場で測定できます。(1検体1000円)

<http://hachisoku.org>

電話 042-686-0820

さらに充実!! ネットで情報発信

ブログ <http://jinnai.ne.jp>

## 八王子スポーツパーク(川町)の建設って、自然破壊 だよ！



自然豊かなグリーンタウン高尾住宅地に隣接する市街化調整区域を残土で盛り土して、サッカー練習場を作ろう、という計画が持ち上がっています。左図の谷戸を 60 万リューベ(10tトラック 12 万台分)の残土で 40 メートルもかさ上げしようというものです。サッカー場は足りないかもしれません。でも自然を破壊してまで、つくるものなのでしょうか。一度壊された自然は戻りません。ここには、200~300 種類もの多様な植物が見られる八王子でも珍しい地域です。また、ホテルやトウキョウサンショウウオなど貴重な生き物も目撃されています。地域住民の方々から、建設計画中止を求める請願署名が行われています。ぜひ、ご協力をお願いいたします。ちなみに、ここは、国史跡で整備されつつある八王子城跡と尾根伝いになっている歴史的にも貴重な場所です。大切にしていきたいものです。署名用紙は事務所(042-636-8158)にあります。



### ■決算審査から・・・

学童保育所の障がい児童入所のあり方について、質問しました。

\* 現在は小学校 4 年生まで。一学童 4 名まで。

**こども家庭部長**：年内をめどに一定の方向性を出したい。放課後の留守家庭児童対策、見守りという切り口のみではなく、そのお子さんにとって必要なケア、療育の観点から、障がい対策との連携も視野に入れて、検討を進めたい。

**市長**：障がい児童の受け入れ枠拡大、ならびに学年の延長は、議会からも要望をもらっている。子育てを支援する立場から、取り組むべき課題であると思っている。

### ■議案審査から・・・

やっぱりおかしい、マルベリーブリッジ延伸計画！！建設工事請負契約議案が提出されました。請負業者はなんと、飛島・黒須建設工事共同企業体です。金額は、11億 2350 万円。この事業、理由がないと、議会でも通信でも再三指摘してきたのですが、前黒須市長が計画して、その親族企業が請け負うとは、まったくもっておかしいことです。この事業をなぜ、やるかというならば、南口再開発事業で国からうけた交付金を過剰に使ってしまった穴埋めのためなのです。市民のためでも、安全のためでもありません。これこそ、税金の無駄使いというものです。陣内の反対討論は、ホームページに掲載してあります。ぜひ、見てください。

### ＝インフォメーション①＝

#### ■議会報告会と忘年ランチ

12月21日(金) 11時30分  
から14時  
場所：パティオ  
(JR八王子駅北口すぐ)  
費用：2000円  
お待ちしております

### ＝インフォメーション②＝

住み慣れた地域での暮らしをずっと続けていきたい。そんな思いが強くなってきています。小さいながらも安心できる、地域の支えあいの仕組みがつかれないかと思っています。知恵と力を出し合って、準備をしていきませんか。お力を貸してください。

グループ私の暮らし、私たちが(仮称)第1回  
12月16日(日) 午前13時~15時  
場所：北野台南部地域会館(予定)  
変更があるかもしれませんので、ご参加予定の方はご連絡ください。 090-4125-9259(陣内)

### ＝インフォメーション③＝

#### ■カフェミーティング

12月13日(木) 13時~15時  
場所：みんなの居場所  
(042-636-8158)  
「人にやさしい東京をつくる」。いままでのトップダウンの強引都政にさよならして、私たちひとりひとりが元気でいられる都政は、どうであつたらいいのか、みんなで声を出していきましょう。



### ・・・編集後記・・・

通信をお届けするのが、大変遅くなってしまいました。次から次へと、いろんなことがおこりますが、これからトリプル選挙の投開票日の12月16日までは、議会中でもあることから、想像できないくらいの大変さになりそうです。国の政治がこれほどまでに腐りきってしまったときはないのではないのでしょうか。原発政策然り、福島復興予算のとんでもない使い方然り。嘆くだけでは変わりません。一人一人が信頼できる人を見極めていきましょう。いまこそ、政治に信頼を取り戻さなければなりません。(や)